



◆記事一覧

- P2-7 ● 町政執行方針
- P8-10 ● 教育行政執行方針
 - わがまちタイムスリっぷ
- P11 ● 予算概要
- P12 ● 町内新就職者紹介
 - 警察官紹介
- P13 ● ヘルメット着用に
努めてください
 - 選挙の投票率について
- P14 ● 地域おこし協力隊通信 Vol.14
 - 思いやりの花届けました
- P15 ● 保健師だより
 - ベイビートーク
- P16 ● 電気自動車のモニター実施中!
 - 戸籍の窓口 他

たくさんの花で町内を彩る

『フラワーガーデン事業』より

令和5年

6月号

No.256

広報 

いしし富士

令和5年度 町執行方針

安心で安全な
住みよいまち、輝くまち



令和五年利尻富士町議会定例会三月会議の開催にあたり、町政執行に臨む私の所信と施策の基本的な方針を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックという未曾有の事態は三年余りの歳月が経過し、ようやくウイルスとの共生を視野に入れた新たなステージへと踏み出す段階に入ろうとしています。令和五年度からはコロナ禍によりダメージを負った町内各方面の本格的な再興を目指し、私たち一人ひとりの英知を結集してこの難局を乗り越えていかなければなりません。

さて、私が町民皆様方から激励を受け、町長に就任しました三期目の所信表明で申し上げた五つの政策方針をさらに充実し早期に結実させるため、今

議会に関連する令和四年度各会計補正予算、令和五年度各会計予算を編成し、各条例の制定や一部改正などを提案しておりますが、「利尻富士町まちづくり創造総合計画」においても後期五カ年に向け実施計画を策定するなど、ま

一・育てる漁業の推進と 着地型観光の充実

始めに、本町の基幹産業である水産業の状況についてですが、昨年の利尻漁協における町内の漁業生産額は、一昨年の生産額を三億一千万円上回る十八億一千三百万円となり、過去五年では平成三十年に次ぐ生産額となりました。昨年は、コロナ禍の中にあっても経済活動の再開によりまして、コンブ等の価格の回復も見られ、特にエゾバフンウニにつきましては価格上昇によりキログラム当たりの平均単価が三万円を超え、生産額も五億九千万円と過去三十年間で最高額を記録したほか、サケの豊漁など明るい話題も多い一年となりました。

しかし、その一方で水産業を取り巻く環境は大きく変化しております。豊かさを実感できる浜づくりを目指すためにも、育てる漁業・管理する漁業を推進し、日本一のブランドである

利尻昆布やウニの価値を高めるとともに、国や北海道などの制度も活用しながら関係機関と連携し、漁業振興を図ってまいりたいと考えています。

新年度における水産振興の取り組みでございますが、まずは担い手対策として新たに四名の漁業後継者に対し磯船を贈呈する予定となっております。また、離島漁業再生支援交付金や特定有人国境離島漁村支援交付金事業の実施により漁場の生産力向上や起業・雇用拡大の取り組みを進めるとともに、輸送費への支援、鬼脇地区のホタテ養殖施設整備、ナマコ稚仔保育場の造成などの支援にも取り組んでまいります。

北海道が行う水産基盤整備事業では、富士岬沖及び鬼脇沖に魚礁設置工事を継続、今年度から清川地先への囲い礁整備に着手いたします。

海岸事業では流木等漂着物の処理や野塚船揚場の改修、富士岬地先へのブロック設置等を実施してまいります。

港湾関係では、国直轄事業として鶴泊港鬼脇港区の南防波堤とマイナス二〇m物揚場の改良工事を継続して実施するほか、鶴泊港の南防波堤改良に向けた測量設計についても国と協議を重ねるなど、円滑な事業実施に努めるとともに、利尻島の玄関口として来

島者、観光客等を気持ちよく迎え入れるため、海の駅おしどまり周辺の環境整備を目的に、整備計画の検討を進めてまいります。

次に観光業についてですが、昨年は

新型コロナウイルス感染症の第七波により、宗谷管内においても感染が拡大し、八月末にはフェリーが冬季ダイヤに変更されるなど、秋季観光に大きく影響を受けたほか、宿泊事業者では従業員が確保できないなど、未だ新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けております。

令和四年度上期における観光客の入込数は八万三百人、宿泊客延数は四万七千五百人と一昨年と比較し倍増したものの、コロナ禍前との比較では約七割程度の回復という厳しい状況にありますが、令和六年は「利尻礼文サロベツ国立公園が昭和四十九年九月に指定されてから五十周年」の節目の年となりますので、今年を国内外の観光需要の本格回復に向けた再スタートの一年と位置づけ、観光業を成長させるため、国立公園指定区域自治体並びに関係者と連携を図りながら、町内の経済活性化に向け取り組んでまいります。

新年度における観光業の取組でございますが、滞在観光を促すため、南浜湿原木道の改修、スタンプリー「利尻クエスト」、サイクルツーリズムの実施、鬼脇地区北海島まつりでの花火大会実施など着地型観光メニューの充実や、利尻島PRのための動画作成、利尻の食と観光PRのための総合スローパーとして全道で事業展開しているイオン北海道と連携し、情報発信の充実を図るとともに、利尻礼文サロベツ国立公園指定五十周年にむけたプレイ

ペントの開催、観光施設についても観光客目線での維持管理に努めてまいります。

また、今年九月には北海道にて「アドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット（ATWS）」が実施され、その大会前に実施されるプレサミットコース、大会後に実施されるポストサミットコースに本町が採択されておりますので、受入れに向けた準備を進めるとともに、利礼三町と稚内市による「地域連携DMO」設立に向けた観光地域づくりに対して、各地の観光協会や商工会、交通事業者等とともに取り組んでまいります。

鬼脇地区においては、二石海岸にある石埦灯台周辺の展望広場及び石崎海底電線陸揚庫を新たな観光資源として整備します。

商工業については、町内経済活性化のため地域振興商品券事業の継続、商工会の運営に対する補助、事業者の事業継続や経営環境改善のための融資制度に伴う利子補給等、積極的に取り組みでまいります。



石崎海底電線陸揚庫

一・離島での持続可能で安心した暮らしを支える環境づくり

私たち離島で暮らす住民の、生活の安定及び福祉の向上を目的として昭和二十八年に制定された離島振興法が、第七次として昨年十一月の改正により法期限が十年間延長されました。

この法律により、本町をはじめ全国の離島では生活条件の改善、産業基盤、交通基盤等の整備を中心とする社会資本の形成は大きく進展しましたが、新型コロナウイルス感染症による影響、更にはウクライナ情勢に端を発した原油・物価の高騰等も相俟って、離島を取り巻く自然的・社会的諸条件は依然として厳しい状況にあります。

このようなことから、現在、北海道と離島地域が連携し道内離島地域の具体的な振興施策を示す「北海道離島振興計画」を改正中であり、北海道をはじめ関係機関との連携を図りながら、生活環境等に関する地域格差の是正、人口の減少や高齢化の急速な進行、地域産業の低迷など、地域自らの創意工夫による、離島の地理的・自然的特性を活かした施策を進めてまいります。

併せて、有人国境離島特別措置法により、フェリー運賃についてはJR在来線並み、航空運賃については新幹線並みと本土と変わらないよう、引き続き離島運賃割引を実施するとともに、水産物や水等の輸送コストの軽減につ

いても引き続き支援してまいります。航空路線運賃につきましては運賃の低廉化のほか、日本航空（JAL）・全日空（ANA）とも、お客様のより良い利便性と負担軽減を図るため、従来より行っております離島住民割引制度等の助成についても継続してまいります。

通年運航のJAL便（利尻―丘珠間）は、三月二十六日から十月二十九日までの夏期ダイヤにおいて、春のゴールデンウィーク及びお盆期間等、祝日と金曜日、土曜日、日曜日の九十七日間、午前便の増便を予定しており、この複便化により離島住民の生活交通路線及び札幌市など道央圏から離島への観光路線として、更なる利便性向上を図ってまいります。

また、季節運航となっているANA便（利尻―新千歳間）は、六月から九月までの四カ月間、運航される予定となっており、今後も離島住民の生活、医療、観光、経済の活性化に必要不可欠な生活路線でありますので運航事業者に赴き、航空路線の維持・存続を図ってまいります。

町道整備につきましては、昨年度に引き続き鴛泊市街中央線（バイパス）と隣接する富士野四号線の歩道及び排水管改良工事、自治会から要望がありました鬼脇支線及び大磯本泊海岸線等については補修工事と修繕にて対応し、鴛泊市街十一号線（翔武館・雨森宅）、富士岬一号線（自治会館付近）及び鬼

脇市街二号線（角宅前・牧野宅前）について側溝改修を行います。また、鴛泊市街一号線（神社通り）では排水改修調査、設計業務を予定しており、町民の方々が安全安心に利用できるよう道路整備を進めてまいります。

また、町内すべての街路灯につきましても、年次計画をもって順次LED化を進め、維持管理費の低減及び省電力化を図ります。

道道の整備関係では、まだ未確定ではありますが、鯉泊地区の道路改良、富士野地区では、橋梁架替え事業による仮道の設置や解体工事、護岸工が予定されており、また、各地区において地質調査や雪況調査も実施予定となっており、今後も道道の維持管理等を適正に行っていたら、幅員が狭く急勾配、急カーブ地区の早期の道路整備着手について要望してまいります。

公営住宅の整備につきましては、富士野団地一棟四戸の個別改善工事と、除却工事では、見晴ヶ丘団地（除雪センター前）一棟四戸と自治会から要望のありました鬼脇地区の公宅一棟二戸に着手し住環境整備を進めてまいります。

鴛泊市街地街なみ環境整備事業につきましては、施設整備をする上で支障となる旧生活排水処理施設の解体工事を実施します。また、どの施設を優先整備するのか、スケジュール関係等も含め協議会や期成会の皆様のご意見を聞きながら、鋭意進めてまいります。

水道関係につきましては、住民生活を支える大切な資源であり、安全安心な水を安定的に供給することが求められていることから、水質及び各施設の維持管理に努めて参りますとともに、事業関係では、道道改良工事に伴う練泊地区と富士野地区の水道本管の移設工事を予定しておりますし、下水道事業につきましては、下水道ストックマネジメント計画を基に本年度も鴛泊・鬼脇両終末処理場の長寿命化を図るため、管理棟及び監視制御設備の改修等を実施し、施設の適正な維持管理を行います。事業では、鬼脇港改良工事に伴う管渠移設計と道道改良工事に伴う富士野地区の下水道本管の移設工事を予定しております。また、令和四年度予算として計上しておりました電気計装設備改築工事につきましては、世界的な半導体不足等の影響により、本年度に繰越して実施いたします。

以上のとおり、離島地域で生活している住民が、地理的特殊事情からくる制約条件を本土と等しくなるよう改善し、交通体系の整備や産業の振興、生活環境の整備など、総合的な住環境整備を国や北海道に対して実情を訴え、講ずるべき対策を協議していただき、地域住民の生活基盤の改善を図ってまいります。



三. 町民の生命・財産を守る 防災力の強化

二〇一一年に発生した東日本大震災から十二年目を迎えようとしておりますが、地震大国とも言われる我が国では全国各地で大小の地震が頻発しております。昨年六月二十日には同じ宗谷管内である豊富町と幌延町で震度四の地震が発生し、その後八月十一日には猿払村でも震度四を観測するなど、宗谷管内で震度三から四クラスの大きな地震が頻発しました。気象台によると、この地震は特に想定されている地震ではなかったとのことでありますが、本町においてはサロベツ断層帯において最大マグニチュード七・六の地震が想定されており、北海道北西沖地震についてもマグニチュード七・八の地震が想定されていることから、地震はいつ起きてもおかしくないとの考えの下、本町の防災対策を進めてまいります。

昨年、防災ラジオでの「FMわっぴー」による災害情報の伝達強化に向けた受信電界の調査を実施いたしました。受信状況が良くない地域があり、中継局を建設するためには多額の費用が必要との概算が示されたことから、新たな視点から防災ラジオ以外の手段も含めながら、緊急時の伝達方法について引き続き検討してまいります。

また、毎年全国各地で大雨による土砂災害が発生しており、本町においても町内各所での土砂崩れが数年おきに

発生しておりますが、近年では冬期間においても台風並みの低気圧が通過・接近する傾向にあり、大雪や暴風雪による道路通行止めが多発していることから、全町民に防寒寝袋を配布することにより、冬期間を含めた停電時の防寒対策を図ってまいります。

避難所対策につきましては、災害用備蓄品の継続整備はもとより、大雨等による土砂災害の危険性の覚知については関係機関との連携を密に迅速な住民対応にあたるとともに、自主防災組織との避難所運営訓練を実施する等、災害発生による避難所運営に万全を期してまいります。

消防関係では、令和三年度に災害対応特殊小型動力ポンプ付水槽車、令和四年度には高規格救急自動車及び指揮広報車を更新し、さまざまな災害に対応するため、消防職員の訓練はもちろん消防団員との合同訓練の実施に取り組んでまいります。

また、救急業務については高規格救急自動車に積載している、最新鋭の資器材を使用した、救急訓練の充実と救命士資格取得のため職員を救急救命士養成所へ派遣し、救急業務体制の維持に努めます。

さらには、令和五年四月に採用予定の職員一名を北海道消防学校に入校させ、消防職員としての知識及び技術の向上を図るとともに、職員一名に大型自動車免許を取得させ、消防力強化に取り組んでまいります。

治山・砂防対策として、町の事業では湾内地区オモベツ川（姫沼）の床固工事と旭浜地区朝日川の改修工事を予定しております。また、自治会から要望のありました鯉泊地区については、設計調査を予定しております。

宗谷森林管理署では、鴛泊・鬼脇両地区において、保全整備造林として防火線等の整備と、本泊、南浜地区の下刈を中心とした保安林整備の予定となっております。

宗谷総合振興局林務課では、湾内地区の人家裏の機能強化・老朽化対策として、土留工が予定されております。

稚内建設管理部では、旭浜地区のアフトロマナイ川通信二重化事業とオチウシナイ川の床固工、護岸工及び砂防施設内の排土について、それぞれ事業予定となっております。

近年の気象災害は激甚化・頻発化が予測されていることから、今後においても町民の生命・財産を守るために、国・北海道に対して引き続き事業の推進について要請活動を行ってまいります。

四. 健康で安心して暮らせる、より住みよい環境の整備

超高齢社会の中、医療や介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるよう、生活支援策や相談体制の充実を図っておりますが、今年度は令和六年度から

三年間の第九期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定年であることから、新たなニーズや地域課題の分析を行い、より住み良い支援策やケアシステム・環境の構築に向けて計画策定を進めてまいります。

また、新型コロナウイルス感染症により一変した生活様式も、もはや日常となり「ウィズコロナ」「アフターコロナ」とウイルスと共存していく段階になりました。フレイル対策に重要とされる「社会活動への参加」と「栄養バランスの取れた食生活」等の支援についても基本的な感染対策を行うつつ、社会福祉協議会と連携し介護保険事業で実施することとし、老人クラブや関係団体と協議しながら事業内容・支援策の拡充を図ってまいります。

健康づくりにつきましましては、「利尻富士町健康づくり計画二十一（第二次）」に基づき、様々な取組を実施しております。

生活習慣病対策として、健診の受診率が課題となっておりましたが、個別の受診勧奨等により受診率が向上してきております。今後さらなる受診率の向上を目指し、健康に対する意識や活動につながるよう普及啓発を進めてまいります。

また、高齢者のフレイルを予防し健康寿命を延伸するため、高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施してまいります。

新型コロナウイルスオミクロン株対

応ワクチンの接種につきましては、昨年九月から接種を開始し、接種率は接種対象者の七割となっております。来年度も接種を継続する方針が示されており、今後も引き続き、速やかに接種が出来るよう必要な接種体制の構築を進めてまいります。

グループリビング施設ふじの荘では、大規模改修工事により屋上断熱防水の改修と真空ボイラーの更新を図り、入居者が住みやすく安心できる日常生活の確保と施設の維持延命を図ってまいります。

秀峰園では、職員の不足により入所者の安全が確保できないと長期の入所を一時中止することがありましたが、入所者が安心して生活を送ることができるよう職員数、入所者の安全を確保しつつ、新規に長期入所できるように体制整備を図ってまいります。

新型コロナウイルス感染症については、第二類感染症から第五類感染症へ移行することが発表されましたが、スタンダードプリコーション（標準予防策）の観点からも新型コロナウイルス感染症に限らず感染予防は必須であると考え、今後も同様に徹底して取り組んでまいります。

デイサービスセンターでは、老朽化した食器や歩行器などを入れ替え、通所される利用者に利便性向上に努めてまいります。

利尻島老人保健施設では、令和三年九月から休止していた通所リハビリテ

ーション事業について、利尻島国保中央病院と連携し理学療法士の出向契約を締結し、四月より利用者へのサービス提供を再開いたします。また、送迎車両（支援車）を増車し、島内各所からサービス利用できる体制を整え、万全なサービス提供に努めてまいります。

本施設は、開設から二十三年が経過しており、老朽化している高圧設備の更新を行うとともに、令和二年度より年次計画により更新している各居室の電動ベッドを今年度においても二台更新するほか、介護予防体操や簡単な双方向会話が可能な介護コミュニケーションロボットを整備し、利用者が快適に過ごせる環境の整備と、厨房用備品として業務用ガステーブルと業務用冷蔵庫を更新し、食品衛生の徹底と安心安全な食事の提供に努めてまいります。

篤泊診療所については、引き続き利尻島国保中央病院からの医師派遣を継続し診療体制の維持を図るとともに、本年一月に稼働した電子カルテシステムを活用して中央病院と連携した効果的な医療を提供、高齢者世帯増加に伴い訪問診療を検討し、地域住民の健康を守る役割を担う診療所として住民が安心して受診できるようにサービスの向上に努めてまいります。

鬼脇歯科診療所では、歯科ユニット一台と歯科レントゲン管理システムを更新し、万全な診療体制の維持に努めてまいります。

子育ての支援施策では、四月からこ

ども基本法が施行され、子育て支援策を一元化するこども家庭庁が創設されることから、国の動向に注視しながら支援の充実に取り組んでまいります。

出産祝い金・出産子育て安心支援金事業の継続実施と合わせ、国の対策であります相談支援と経済的支援の一体的実施による〇歳から二歳の低年齢期に焦点を当てた「出産・子育て応援交付金」による支援の拡充を図ってまいります。

また、令和五年度入所予定児童五十三名の多様化する保育ニーズに対応したサービスの充実に努めるとともに、低年齢児や療育が必要な子どもが増えている近年、安心して入所できる保育体制を目指し、医療技術者等修学資金貸付条例の貸付対象者職種に、保育士を追加する条例改正案を提案しておりますのでよろしくご審議願います。

なお、高校生までの子ども医療費無料化事業の継続や、利尻高校生の通学支援では支援額の増額を図り実施してまいります。

葬苑（火葬場）につきましては、利尻富士町葬苑建設基本計画を基に、人生の終焉の場として、故人との最後の別れにふさわしい空間、静寂と安らぎを感じながら過ごすことができる施設となるよう、令和六年度の供用開始を目指し関連予算を計上し着手します。

国は安全安心で利便性の高いデジタル社会をできる限り早期に実現する観点から、マイナンバーカードをデジタ

ル社会の基盤「デジタル社会のパスポート」と位置付け、普及を推進していきます。

当町におきましては、町民の皆様のご理解とご協力のもと、全国でも上位の申請率となっており、今後におきましても国は利便性の向上・活用シーンの拡大の推進を掲げており、当町におきましても所謂「町民カード化」なる利用を色々な角度から検討し、生活の様々な局面で利用できるカードとしての普及の推進に努めてまいります。

また、地域活性化起業者による民間力を活用しながら、自治体DXの在り方についての検討を始めたかと思っております。

すでに町の人口減少も始まっていることから、「町民も役場ももっと便利な未来へ」をテーマとして、全庁的な意識改革や体制整備に取り組んだ上で、職場の問題意識をデジタル技術にどう結び付けることができるかの検討を開始してまいります。

五. 心身のすこやかな成長と学びを支える教育の推進

本町の教育施策を推進するにあたっては、「利尻富士町教育大綱（二〇二一〜二〇二三年度）」の三つの基本指針を軸として、教育政策の目標を掲げ、それぞれの施策を着実に実行していく所存であります。

令和五年度からスタートする「小中

一貫教育」については、町としても児童・生徒の学びを支える重要な施策ととらえており、ICT教育や教職員の連携に基づく働き方改革の一層の推進を含めて、期待するものであります。

学校給食費の無償化であります、令和四年度で六月から国のコロナ対応地方創生臨時交付金を活用し実施してまいりましたが、昨今の物価高騰等による家庭への負担を鑑み、子育て世帯支援策として令和五年度から町内小学校に通う児童・生徒を対象とした学校給食の完全無償化を実施してまいります。

例年、北海道エアシステム（HAC）のご協力により実施している「ふるさと教育体験事業」については、本年五月に小学六年生を対象として計画しており、利尻島上空を遊覧飛行する直接体験を通して、ふるさと利尻島への愛着や誇りを育む教育の充実に取り組んでまいります。

なお、教育行政執行の内容につきましては、このあと詳細に吉田教育長から申し述べますので、お聴きいただきたいと思っております。

地方創生関係について

令和三年度からの五カ年計画となる「第二期利尻富士町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定したところですが、人口の減少速度が前計画からの五年間で加速しており、各項目におい

て触れているものもありますが、地方創生のより一層の取り組みにより減少を鈍化させるべく、出産支援事業や子ども医療費の無償化、利尻高校生への通学支援金の給付等、十の事業に予算計上し、引き続き魅力ある地域づくりを促進してまいります。

とりわけ、少子高齢化に加え、若年層の島外流出による生産年齢人口の減少による労働力不足は深刻であり、将来的な町の社会構造の根幹を揺るがす喫緊の課題であることから、現在、商工会・建設協会・利尻漁協に所属する事業者に対する「働き手不足問題」に関するアンケート調査を実施しておりますので、調査結果を分析することで現状を把握し、今年は各業界との情報交換や対話の場を創出しながら、今後の対策を検討してまいります。

六. 脱炭素社会の取り組み

本町は「二〇五〇年に温室効果ガスの排出量または二酸化炭素を実質ゼロ」を目指すべく、礼文町と利尻町との三町共同により、ここに「ゼロカーボン宣言」をいたします。

宣言書についてはお手元配布のとおりですので、後ほど目を通していただきたいと思いますが、二〇二〇年十月に、当時の菅内閣総理大臣により二〇五〇年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことが宣言

され、その後骨太の方針二〇二一にも「ゼロカーボン北海道」が明記されたことを契機として、国でも北海道の取り組みを支援するタスクフォース（緊急な課題を解決する組織）が設置されており、カーボンニュートラルへ向け加速しております。

本町としましても、国や北海道と足並みを合わせ、取り残されることなく取り組みを進めて行かなければならないことから、宣言に合わせ「地球温暖化対策実行計画」を策定し、温室効果ガス排出量の現状推計・将来推計を把握した上で、本町にふさわしい削減目標を設定し、町民に示してまいります。



令和五年度財政運営について

本町の財政状況は、議会や町民の皆様方の行財政改革に対するご理解とご協力のもと着実に進められており、財政健全化法に基づく四つの指標は、すべて国の基準をクリアしていますが、「次世代に苦勞をかけない」ためにも引き続き行財政改革に取り組んでまいります。

令和5年度 建設事業一覧表

【一般会計】

単位：千円

事業名	事業費
職員住宅共済1号解体工事	7,755
地球温暖化対策実行計画策定業務委託	3,740
二石海岸公園整備基本調査業務委託	300
二石海岸公園展望広場等整備工事	2,500
自治体システム標準化外字同定業務委託	2,662
LGWANメールサーバー環境構築業務委託	825
気柱開閉器改修工事	1,573
温泉水配湯車通路補修工事	1,980
計	21,335
民生費	
グループリビング施設大規模改修工事	17,500
計	17,500
衛生費	
【葬苑建設事業】 葬苑建設工事	330,030
【葬苑建設事業】 葬苑外構整備工事	50,500
【葬苑建設事業】 葬苑建設工事監理業務	9,000
【葬苑建設事業】 葬苑建設工事備品	8,000
【葬苑建設事業】 火葬炉設備工事	56,000
【葬苑建設事業】 駕泊葬苑解体工事実施設計	6,000
【葬苑建設事業】 用地調査業務	500
計	460,030
農林水産業費	
治山整備維持補修工事	400
小規模治山事業	35,860
離島漁業再生支援交付金	44,012
海岸漂着物処理業務委託	6,000
漁業施設整備事業補助金	11,667
特定有人国境離島漁村支援交付金	37,573
水産環境整備事業負担金	6,000
計	141,512
商工費	
南浜湿原木道整備工事	25,180
沼浦園地レストハウス改修工事	8,415
計	33,595
土木費	
街路灯LED化更新工事	10,000
町道改良工事（駕泊中央線）	66,000
町道改良工事（富士野4号線）	45,000
町道改良工事（駕泊市街1号線）	15,000
町道補修工事（鬼脇支線）	3,000
町道補修工事（大磯本泊海岸線）	1,000
町道側溝改修工事（富士岬1号線）	5,500
町道側溝改修工事（駕泊市街11号線）	4,000
町道側溝改修工事（鬼脇市街2号線）	4,500
駕泊港商工区整備計画検討業務	5,000
駕泊港整備事業負担金	64,000
生活排水処理施設解体工事	23,705
公営住宅個別改善工事	46,500
飛行場標識施設補修工事	2,475
配光測定装置更新工事	43,912
草刈装置購入費	512
計	340,104
消防費	
光ケーブル移設工事	2,010
富士野地区光ケーブル支障移転工事	253
練泊地区光ケーブル支障移転工事	5,610
屋外拡声局柱更改工事	5,390
計	13,263
教育費	
スクールバス購入費	4,620
駕泊小学校防災用備蓄倉庫設置工事	2,687
駕泊中学校手摺取扱工事	2,409
計	9,716
合計	1,037,055

これからご審議頂きます令和五年度の予算は、本町の厳しい財政状況の中で、限られた財源の重点的・効率的な配分に留意し、町民の暮らしを守ることを念頭に予算編成を行ったところであります。

その中で、一般会計の建設事業費は十億三千七百五十万円となり、特別会計では二億七千七十万円、合わせて十三億七千七百五十万円、対前年度比十三・五%の増額を見込んでおり、これらの事業によって地域の雇用、経済の好循環を促すための景気対策を講じようとするものであり、町民の働く場をしつ

かりと確保します。

また、全国各地の皆様からご厚意により寄せられている「ふるさと応援基金」四億五千万円を有効に活用すべく二十六の事業に充てたいします。

その結果、一般会計の予算規模は五十二億四千五百五十万円とし、対前年度比六億八千万円増、率で十四・九%の増額予算となっています。

また、簡易水道事業会計他九つの特別会計の合計で二十一億三千五百四十二万九千円。一般会計と特別会計を合わせた総額では七十三億七千六百九十二万九千円となり、前年度対比九・八

%増の予算としております。

以上、令和五年度の町政執行に対する私の所信の一端と、主な政策を申し述べましたが、三年余りに渡る新型コロナウイルス感染症により基幹産業である水産業や観光業が打撃を受け、また、商工業等の経済活動も冷え込んでいる中、追い打ちをかけるように、ロシアによるウクライナ侵攻の影響による原材料価格や原油価格の高騰により、町民生活にも影響が出はじめていることから、この危機を乗り越えるためにも、町民皆様はじめ関係者の方々の声を聴き、町内経済が活性化するように努

力してまいります。

「安心で安全な住みよいまち、輝くまち」となるために、利尻富士町として町民の幸せのため、「町政は町民が主役であり、町民一体となって進めなければならぬ」ということを肝に銘じ、利尻富士町の先頭に立って町政運営に取り組んでいく所存でありますので、町議会議員の皆様をはじめ、町民皆様の温かいご支援と、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。令和五年度の執行方針とさせていただきます。

令和5年度 教育行政 執行方針



令和五年利尻富士町議会定例会三月会議の開催にあたり、教育行政の執行に関する主要な方針を申し上げます。

利尻富士町教育委員会は、教育基本法に定められた教育の目的と理念、そして「利尻富士町教育大綱」の具体的な基本方針をもとに、めざす子ども像を「自然を愛する豊かな心と高い知性を持ち、未来を生き抜くたくましい子ども」とし、教育の一層の振興と充実を図るべく令和五年度においてその諸施策を推進します。

一、未来を生き抜く力 「学校教育の充実」

これまでの三年間、子どもたちにとって長くつらい新型コロナウイルス感染症とのかかわりで中学校生活ある

いは小学校生活の半分を費やしました。コロナ禍が学校・児童生徒に及ぼした影響は計り知れないがあります。その一方で学校デジタル化の加速度的な進展、子どもたちの多様化など、学校を取り巻く環境は日々、大きく変化しています。

このため、令和の日本型学校教育、すなわち「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に実現していくための取組を進めることが重要となっております。利尻富士町では令和五年四月、「りしり富士小中一貫教育」をスタートさせます。

小中一貫教育は小学校から中学校までの九年間の連続した教育課程を編成し、系統的に捉えて一貫性のある確かな学びを創造するものであります。これにより子どもたちは学校での学習内容や学習活動の質的・量的な変化への対応が図られるとともに、小学生が中学校に進学する際の大きな環境の変化を和らげることにより、新しい環境への適応につながることができそうです。本町がめざす一貫教育は学校・家庭・地域が一体となつて学びを支える体制をつくり、キャリア教育の確立と道徳教育、児童・生徒会活動のつながり、生活習慣の指導など利尻富士町の豊かなつながりをもつて進めるものであります。具体的には平成三十年に小中併置校として生まれ変わった利尻小学校・鬼脇中学校を「施設一体型」と称し、この五年間で培った小中連携の基礎盤

をもとに児童生徒会の一本化や算数・英語の中学校教諭による授業の乗り入れ、日課(時間割)調整による活動時間の共有と縦割り活動の共同化など、一つの校舎であることのメリットを最大限に活かした様々な取り組みとともに教職員全員が同じベクトルで授業改革に取り組み、児童生徒の確かな学力を身につけていく授業づくりを進めます。

また、篤泊地区は校舎間の距離があることから「施設隣接型」と位置づけ、既に実施している乗り入れ授業の充実に図るとともに中学校と授業のスタートを合わせられるよう小学校での日課調整や教科担任制の導入、さらに児童生徒間の交流を活発化させることで、中学生による運動会や学芸会等の運営支援や発表指導等を促します。特に教職員の小中合同研修を定期的に実施し、児童の資質の共有を図ることにより、学習意欲の定着と確かな学力、協働的な学びによる学習スタイルの統一を目指し、「小中ギャップ」の軽減に結び付けます。

このように本町の一貫教育は両地区の特色を活かし、利尻富士町の「めざす十五歳の姿」を創造しながら九年間を見通した指導の実現とともに学校・家庭・地域が一緒に子どもたちを育てていくことを築き上げます。

現行学習指導要領に掲げられている「主体的・対話的で深い学び」はデジタルを使うことにより、子どもたちの学びが確実に変わってきています。今

まで主流だった「先生―子どもたち」というタテの関係だけでなく「子ども同士」というヨコの関係を効果的に進められるようになってきました。新型コロナウイルス感染症がもたらした対話的な学びへの影響が効果として十分とは言えません。

本町の一人一台環境にあるICT教育は開始から三年目を迎えます。日常的にアナログとデジタルを活用した学習が本格化し、データや知見による探究的な学習の加速とともに教職員のICTリテラシーも課題となっています。このため、昨年度から活動を始めた「学校デジタル化推進協議会(学校教育DX)」を通じ、ICTの利活用に関する全体的な底上げを図るため、民間コーディネーターの派遣や指導力向上に向けたスキル研修を実施します。

また、令和六年度からすべての小学校で小学校五年生から中学校三年生に対し、英語のデジタル教科書の提供が開始されるのを先駆け、本町でも「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」の参加校として、英語科目を全小中学校、算数・数学は篤泊小・中学校を予定しています。



篤中への乗り入れ授業(英語)

さらに本町独自の取組として、中学校の空き教室を活用するなどして小学校五・六年生を対象とした中学校での外国語の授業を展開します。これは児童が中学校へ乗り入れることにより、中学校での授業体験を通じた接続の円滑化とともに小学校教員の働き方改革の一環と中学校教員・ALTによる優れたICTコンテンツの活用で篤泊地区の小中一貫教育の「英語×ICT教育のベストミックス」を推進します。

これから先も警戒感を落とすことなく子どもたちの安全と安心を確保し、学びを保障する取り組みを続けなければなりません。

そのため、感染症への持続的な対応については、四月一日より学校教育活動の実施についてはマスクの着用を求めないことなどが示されましたが、引き続き基本的な感染症対策は重要であることから長期的な視点による感染症に強い学校の実現に向けた取り組みを推進します。また、維持補修による学校の環境整備、校舎周辺の防災機能の充実や通学自動車の小型化による見守りと安全の強化、また道立高校等でも試行的な運用が始まった「学校トイレへの生理用品の設置」を相談体制の強化とともに推進してまいります。

年々増え続ける学校での「いじめ問題」は未然の防止、早期発見・組織的な対応が非常に重要であるとともに教職員全員が意識をもって積極的な認知を理解する必要があり、学校が一体と

なって取り組まなければなりません。このため、潜在化し認知漏れとなることのないよう「認知件数がないこと」を児童生徒・保護者に公表し、検証するとともに子どもたちが主体的にいじめ問題について考え、議論するなどいじめ防止に資する活動に取り組みます。

さらに、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、すべての子どもたちの可能性を引き出し学びの実現と学びの場の充実・整備とともに、個々の児童生徒が自立をめざし、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服しようとする取り組みを促すため自立活動の指導に力を入れ、教育支援委員会や特別支援教育連携協議会を通じて情報の共有や保護者・地域との連携、生涯地域で暮らせる仕組みづくりを強化するとともに、島の特別支援学校等に通学する保護者への負担軽減のための交通費（フェリー運賃等）の世帯定額助成を継続して実施します。

また、町内すべての児童生徒を対象とした学校給食の無償化につきましては、町の財源による保護者負担への高配に感謝申し上げ、今後とも児童生徒の心身の成長に不可欠な学校給食による食育を推進してまいります。

教育活動の様々な施策と小中一貫教育を進めるうえで重要となるのが、教職員員の「働き方改革」と組織的な教育力・個々の指導力の向上です。変化の激しい時代において、学校教

育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、主体性を発揮しながら教職員が生涯を通じて学び続けることは、自身の資質と能力の向上につながり、教育委員会としても様々な支援と新しい取り組みを進めなければなりません。

その中で、国の指針のもと、中学校における運動部活動のあり方における「部活動の地域移行」については、令和五年度から七年度までにおいて、休日の運動部活動から段階的に地域移行できるように体制・条件整備をしなければならぬことから、本町においても限りある人材の中、関係団体や指導者、学校・地域による理解と協議を重ね、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実等に取り組めます。

また、一人ひとりの教師が自らの専門性を高め、誇りをもって主体的な研修となる教職員員の「新たな研修制度」導入における支援とともに「学校における働き方改革アクションプラン（北海道・利尻富士町）」の取組についても実行管理と評価検証に努めてまいります。

**二、心豊かな人づくり
社会教育と生涯学習の充実**

第三期利尻富士町生涯学習推進計画（二〇二一～二〇三〇年）では「ふるさとを支える、人の魅力があふれるまち」をスローガンに、住民一人ひとりの学習活動を基本に、地域の良さを可

能性を最大限に活かし、相互のつながりを深めた地域づくりによる社会教育を進めることとしています。

そのため、学習活動の要となる鬼脇公民館や体育施設等の今後の整備計画については、施設の利用者との協議や他の施設との効率的・複合的な活用を模索しながら、学校開放についても積極的に取り組み、具体的な方策を示していきます。また住民のスポーツ・文化活動は、団体や個人それぞれで楽しみ学ぶものであることから、行政として団体組織への助成金ばかりではなく、活動に対する相談や仲間づくりの手助けなどの体制を整え、こうした個々の活動に対する支援を通じて、地域づくりの担い手を発掘し、実行委員会等で組織されるさまざまなイベントや大会への参画を促すことで、地域全体の活性化に結び付くよう取り組んでまいります。

青少年の健全育成については、学校・家庭・地域の連携を図りながら、「地域ぐるみの子育て」を一層進めることが必要です。具体的には、子どもたちの放課後の安全・安心な居場所づくりと体験活動を通じた「放課後子ども教室」をはじめ、地域と学校をつなぐ学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を母体にした学校支援活動のさらなる強化に努めるとともに、「チャレンジ教室」など青少年健全育成町民会議と連携した活動を通じて、一人でも多くの大人や学生が子どもたちと

関わり、見守れる社会となることをめざします。さらに、コロナ禍により失われた町外との交流事業やリーダー研修への参加などについても対面での再開を図り、子ども同士の交流が育めるよう取り組み、これまでも行ってきた郷土の愛着と誇りを育む「ふるさと教育体験事業」の利尻島上空遊覧飛行を継続して実施いたします。

本町の文化財をより多くの人に知ってもらうための文化財保護活動として、本年、郷土資料館が開館五十周年を迎えることから、観光協会と連携し、館内展示やグッズ製作などの記念事業を行ない来館者の増加と魅力度アップにつなげます。また、これまであまり注視されていなかった遺跡や陸揚庫の調査を通じて、新たな歴史遺産の掘り起こしや普及活動に努めるとともに、所蔵する郷土資料のデジタル化についても積極的に進め、レファレンスの充実や学習教材等への汎用性を高めます。

今後ともふるさとに誇りを持ち、多様性を尊重し、想像力豊かで新しい時代を主体的に切り拓く心豊かな人づくりに向けて、教育委員会が家庭や地域社会の皆様と連携を図りながら社会教育の充実に努めてまいります。

地域とのつながりを活かし、小・中高十二年間を見通した系統的かつ組織的な教育活動を展開するためには、地元利尻高等学校との接続性と深い連携が重要であります。国の新たな指針においても学科の在り方や活力と魅力

ある高校づくりのための具体的な施策の方向性が示されることとなりますが、令和六年度からの利尻高校配置計画の変更に伴う商業科の学級減に伴い、現在普通科を主軸にした商業科目を選択科目に盛り込む教育課程の編成を行っていたと聞いています。

令和五年度におきましても引き続き、ふるさと教育事業や商業クラブ活動への助成、キャリア教育への支援をすることともに、魅力化の一環として高校給食の導入の再検討を利尻町とともに検証を重ねながら協議し、子どもたちが十二年間地元で学び多様な力を身につけるよう様々な取組を推進してまいります。

おわりに

以上、教育行政の推進方針と主要な施策について申し上げます。来る令和五年度は利尻富士町学校教育推進計画及び教育大綱の新たな方針を方向づける重要な年でもあります。町議会議員の皆様並びに町民の皆様、教育関係者の一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。教育行政執行方針いたします。



郷土資料館

わがまち
タイムスりっぷ

連載60

牧野富太郎と利尻山の植物

現在放映中のNHK朝の連続テレビ小説「らんまん」のモデルは、「植物学の父」として名高い牧野富太郎です。牧野氏は、1862（文久2）年高知県佐川町の造り酒屋に生まれました。独学で植物の研究をつづけ、東京大学植物学教室で植物分類学の研究に打ち込みました。生涯において命名した新種や変種は約2500種、全国各地を踏査して集めた標本は50万点におよびます。

その牧野氏が調査のため利尻島を訪れたのは1903（明治36）年8月のことで、調査のようすは「利尻山と其植物」という報文にまとめられました。利尻山では、山中で2泊し、8合目より上部でキバナシャクナゲやリシリヒナゲシなどを、ローソク岩でもタカネツメクサやチシマイワブキ、エゾコザクラなどを確認しています。そして、少し下った右斜面にキンバイソウ（ボタンキンバイ）の群落を見つけ、「萼弁（萼片）が10枚以上あって、新種ではなかろうか」と記しています。このとき標本となったキンバイソウが、のちに新種として発表されたボタンキンバイで、利尻島の固有種となっています。ほかにもリシリトウウチソウやリシリリンドウ、ミヤマオグルマなども牧野氏により見出されています。



120年前の鷺泊風景（高知県立牧野植物園所蔵）

また、調査の折に撮影したとみられる写真が、高知県立牧野植物園に残されていました。現在の夕日丘からペシ岬の方向を撮影したもので、人家がまだ現在の本町周辺に限られていることがわかります。

郷土資料館に、牧野富太郎についての解説や資料コーナーを設けていますので、ぜひご覧ください。（教育委員会 山谷 ☎82-1370）

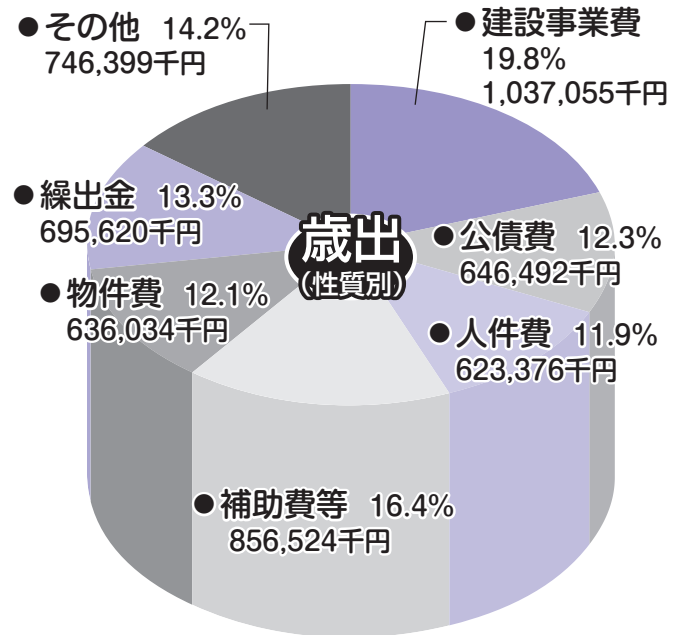
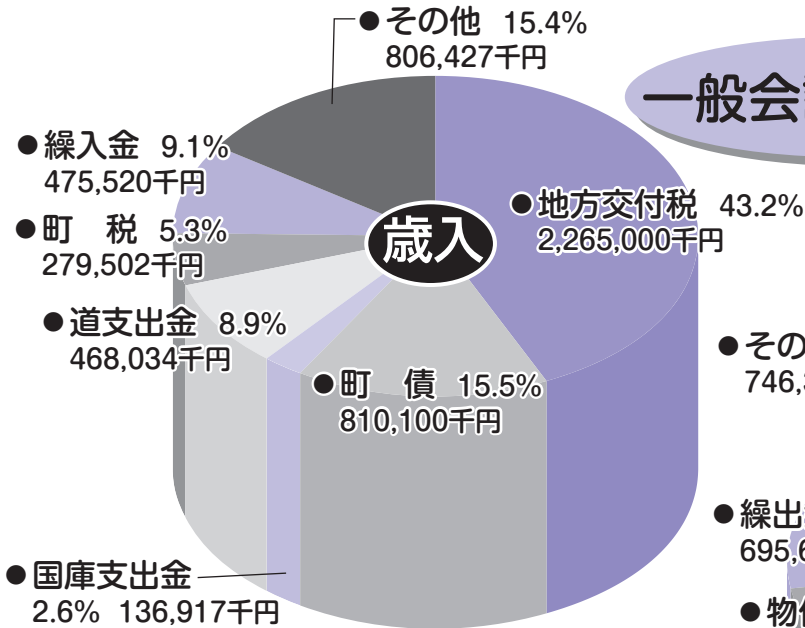
一般会計の歳入・歳出予算額は…

52億4,150万円

令和5年度の一般会計当初予算額は、前年度比14.9%の増となっております。特別会計の合計21億3,542万9千円と合わせた町の予算総額は73億7,692万9千円で、前年度比約9.8%（6億6,006万6千円）の増額となります。

令和5年度の
予算概要
をお知らせします。

一般会計予算は？



■特別会計予算

単位：千円

科目	令和5年度	令和4年度	比較
簡易水道事業特別会計	94,724	147,460	△ 35.8%
下水道事業特別会計	376,805	371,644	1.4%
港湾整備事業特別会計	66,763	64,563	3.4%
温泉事業特別会計	78,436	128,111	△ 38.8%
国保事業特別会計	389,974	386,685	0.9%
後期高齢者医療特別会計	45,016	51,552	△ 12.7%
介護保険事業特別会計	338,165	339,085	△ 0.3%
介護サービス特別会計	622,323	538,409	15.6%
歯科施設特別会計	56,825	46,650	21.8%
国保施設特別会計	66,398	82,204	△ 19.2%
合計	2,135,429	2,156,363	△ 1.0%

■一般会計予算(目的別歳出予算)

単位：千円

科目	令和5年度	令和4年度	比較
議会費	45,296	45,380	△ 0.2%
総務費	770,072	685,473	12.3%
民生費	676,535	537,126	26.0%
衛生費	779,723	350,603	122.4%
労働費	86	85	1.2%
農林水産業費	214,442	216,678	△ 1.0%
商工費	218,844	191,122	14.5%
土木費	967,086	952,996	1.5%
消防費	193,607	234,399	△ 17.4%
教育費	251,626	249,052	1.0%
地方創生費	20,622	19,006	8.5%
公債費	646,492	720,017	△ 10.2%
諸支出金	454,068	355,562	27.7%
災害復旧費	1	1	0%
予備費	3,000	3,000	0%
合計	5,241,500	4,560,500	14.9%



町内新就職者紹介

- ①出身地 ②配属先
- ③趣味・特技
- ④今後の抱負



- ①利尻町
- ②特別養護老人ホーム秀峰園 准看護師
- ③神社仏閣巡り、ヒーリング
- ④20年ぶりに利尻に戻り、秀峰園に勤務しました。入居者様の生活がより良いものとなるよう、他のスタッフと協力して、看護・介護していきたいと思っています。よろしく願います。

すず え ち あき
鈴木千明さん



- ①埼玉県
- ②特別養護老人ホーム秀峰園 介護職員
- ③スノーボード、SUP、ドライブ
- ④言葉が理解できない時もありますが、一人一人としっかりと向き合いよりそい笑顔で日々を過ごせるようお手伝いをしていきたいと思っています。また、プライベートでも島民の方々と沢山交流していきたいと思っています。よろしく願います。

たか ま こすえ
高間 梢さん



- ①福島県
- ②利尻礼文消防事務組合 利尻富士支署 救急救助係兼警防係
- ③車、映画鑑賞
- ④4月より利尻富士支署に配属になった白川和樹です。私は福島県出身で沖縄県の専門学校を経て利尻のほうにきました。まだ引越しをして1ヶ月と短くまだなにも分かってないですが早く色んなことを覚え利尻富士支署の役に立てるよう頑張るのでよろしく願います。

しら かわ かず き
白川和樹さん



- ①利尻富士町
- ②利尻富士町商工会 記帳専任職員
- ③ゲーム、読書
- ④利尻富士町商工会に入り、2か月程経ち、少しずつ自分がやるべきことがわかってきました。まだまだ社会人としてわからないことが多くありますが、精いっぱい利尻富士町の皆さんの力になれるよう頑張りますので、どうか温かく見守っていただくと幸いです。

ひら たに はると
平谷陽翔さん



- ①利尻富士町
- ②中田組 工事部
- ③サッカー
- ④中田組で働き始めて2か月が経ちました。仕事をしていくうえで沢山覚えていくことがありますが、丁寧に指導してくれるので、1つ1つの仕事を忘れずに日々、努力していきたいと思っています。会社内はとても明るく、沢山の人たちと話すことがあるので、コミュニケーションも大切にしながら、今の中田組で楽しく、時には厳しく仕事をして、頑張っていきたいと思っています！

まえ だ らく
前田 楽さん



- ①礼文町
- ②稚内信用金庫 為替担当
- ③バレーボール、掃除
- ④働き始めて2か月が経ち、少しずつできることが増えてきたように感じます。まだまだ未熟ですが、町民の皆様に信頼して業務を任せいただけるよう努力していきたいです。よろしく願います。

み うら
三浦このはさん

警察官紹介



いの うえ とも ゆき
鷺泊駐在所 所長 井上智雪さん

4月に小樽警察署から異動となり、鷺泊駐在所長として勤務させていただきます井上智雪です。

趣味は魚釣りや登山で、自然豊かな利尻島での勤務を希望しておりました。

皆様に助けいただきながら精一杯頑張りたいと思っています。公私共々どうぞよろしく願います。

ヘルメット着用に努めてください

4月1日から自転車に乗る際のヘルメットの着用が全ての人を対象に努力義務化されました。これまでは13歳未満の子どもを対象に保護者が着用させるよう努めなければならないとされていましたが年齢の上限がなくなります。

北海道では2018年から北海道自転車条例にて「**自転車利用者は、自らの安全を確保するため、乗車用ヘルメットを着用し、及び夜間においては自転車の側面に反射器材を装着するよう努めなければならない。**」となっており、道路交通法改正に先駆けて着用するように呼び掛けていました。しかし、自転車ヘルメット委員会によると2020年時点で北海道民のヘルメット着用率は全国ワースト1位の2%となっているようです。

ヘルメット着用は努力義務のため罰則等はありませんが、事故にあった際、着用時に比べ非着用時の致死率は約2.6倍にもなり、道内で起きた自転車乗車中の死者約52%が頭部に致命傷を負っていたそうです。

また、昨年11月1日に中央交通安全対策会議交通対策本部決定による自転車安全利用五則（以下）のとおりヘルメット着用のほかにも夜間のライト点灯や飲酒運転はしないなど交通事故を起こさないために出来ることはたくさんあります。加えて、自転車損害賠償保険なども万が一の自転車事故のためにも加入しておくのが良いかもしれません。

自転車に乗る際にヘルメットを着用することにデメリットはありませんので、積極的なヘルメット着用を努めましょう。

自転車安全利用五則

1. 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
2. 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
3. 夜間はライトを点灯
4. ヘルメットを着用
5. 飲酒運転は禁止

選挙の投票率について

今春、第20回統一地方選挙が行われ、北海道でも知事選挙、道議会議員選挙が4月9日(日)を投票日として実施されました。

利尻富士町では有権者1,938人のうち1,618人の方が投票し、その投票率は83.49%となりました。これは、前回2019年の統一地方選挙からは2.97ポイント減少したものの全道1位の記録となっています。全道1位の記録は今回だけでなく昨年や一昨年の参議院議員通常選挙や衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査などまだまだ続き、近年の選挙で投票率が1位ではなかったのは2017年に行われた衆議院議員総選挙の投票率85.36%で利尻町に次ぐ2位でした。

投票率の低下が問題となっている近年の選挙の中で投票率がこれだけ高い水準で維持されているのは、町民一人ひとりの選挙への意識の高さから来るものだと考えられます。

直近9回の選挙の投票率と順位

※(有)…有権者数、(投)…投票者数

2014.12.14 衆議院議員総選挙 (有)2,327人 (投)1,960人 投票率84.23% 全道1位	2015.4.12 北海道知事選挙 (有)2,281人 (投)1,955人 投票率85.71% 全道1位	2016.7.10 参議院議員通常選挙 (有)2,280人 (投)1,940人 投票率85.09% 全道1位
2017.10.22 衆議院議員総選挙 (有)2,240人 (投)1,912人 投票率85.36% 全道2位	2019.4.7 北海道知事選挙 (有)2,105人 (投)1,820人 投票率86.46% 全道1位	2019.7.21 参議院議員通常選挙 (有)2,126人 (投)1,773人 投票率83.40% 全道1位
2021.10.31 衆議院議員総選挙 (有)2,048人 (投)1,850人 投票率90.33% 全道1位	2022.7.10 参議院議員通常選挙 (有)2,004人 (投)1,635人 投票率81.59% 全道1位	2023.4.9 北海道知事選挙 (有)1,938人 (投)1,618人 投票率83.49% 全道1位

地域おこし協力隊通信 vol.14

今回は栽培漁業推進員の鈴木隊員について活動報告をさせていただきます。

隊員になって2年目の総括としては、2、3回しか潜ることが出来なかったのは残念でしたが、何よりもケガや病気をすることなく、無事一年を終えることが出来たのはよかったです。1年目は就任早々、2週間くらいで左手の指を骨折してしまい、いきなりこけてしまったので。あの時は、治療が終わるまで速攻で横浜に帰ろうかと思ってました。

9月からふ化場の業務が始まり、草刈り・施設の点検からのスタートで、卵が入ってから浮上（稚魚が泳ぎ始めること）

するまでは、ほぼ毎日雪投げが主な業務で、そのおかげで冬の間がいい体に仕上がりました。浮上してからは、飼育池の清掃と餌まきの日々でした。最初は餌まきをして逃げる稚魚も、放流する頃には餌を撒き始めると注水部の端から泳いでくるのが可愛くも思えます。が集合体恐怖症の僕にはぞっとする光景なんですけどね。

普段家ではメガネをかけていますが、ふ化場ではメガネは出来ません。卵一粒一粒が見えてしまうと気分が悪くなって仕事にならなくなるかもしれないからです。目が悪くてよかったと思ったのは初めてです。

この1年一番印象に残ってることと言えば、やっぱり佐々木忠弘親方です。

親方は基本とても優しいんですよ。面白いですし。休憩時間に中国語のドラマ見てたりするんですが、CMに入る度に中国語っぽい言葉で話しかけてくるのが正直ちょっと面倒くさいですね(笑)。でも、親方だったからこそ、この2年間やってこられたというのは大きいと思います。というか、それが全てだと思います。狭い事務所で親方と二人で約半年間休みもなく過ごすわけなので。親方は仕事に対しては当たり前なんですけど厳しいですが、おかげで学びも多かったと思います。もちろん、稚魚を無事予定通り放流できたことも良かったんですが、2年目ということもあって感動よりも作業終了の充足感というのかほっとする安心感の方が大きかったですね。

今後の予定としては、現段階では水産港政係で持っている施設の草刈りはやったので、あとは依頼があれば観光施設の草刈りですかね。

先日、本泊港から少し船で走らせた昆布の養殖施設の撮影のため久しぶりに潜ってきました。次は、天然昆布の撮影をしに行こうというお話をいただいておりますけれども、天然昆布は多分、潜らなくても撮影出来てしまうと思うのであんまりテンション上がってこないです。

7月18日から31日まで、伊豆に行ってPADI(※)のインストラクター講習を受けてくる予定です。本来なら1年目にやっておきたかったことで、受講する予定ではあったのですが色々あって3年目にしようやくダイバーとしての一歩目が進められるのは嬉しく思います。けれども任期の残りを考えると2年の出遅れ感は否めないかという感じです。そのために、インストラクター講習の事前自宅学習にも励む予定です。

また、昨年末くらいから週に一度、秀峰園の吉田園長とプールトレーニングを始めたり、時間や都合がつけば北鹿野営場まで散歩程度のジョギングをしたりと体作りも並行して行ってるので結構忙しくやっています。

(※)PADI(パディ)…スキューバダイビングの指導団体。



朝日川で鮭さらい作業をする鈴木隊員

『思いやりの花』届けました

人権啓発活動(「人権の花運動」)として、人権擁護委員さんと町内保育所、小中学校児童生徒のみなさんで花の苗を植えました。人権擁護委員さんより「いやだなあと思うときは、この花を見て、やさしい気持ちになり思いやりを持てる人になってください」とお話しがあり、「水をあげて大切に育てます」と幼児・児童・生徒のみなさんから感謝のことばをいただきました。



保健師だより

総合保健福祉センター

◆「便潜血検査」(検便)を受けたことがありますか？

大腸がんは、大腸(結腸・直腸・肛門)に発生するがんです。便が長い間貯留しているS状結腸と直腸にがんが
できやすいといわれています。大腸がんにかかる方は増加傾向にあり、女性における死亡数は第1位、男性は第2
位となっています。

なぜ大腸がんになるのでしょうか？

食生活の欧米化が大きな増加の要因です。



脂肪分や動物性たんぱく質の取り過ぎが増える一方、腸内の調子を調えるなどの
役割がある食物繊維の摂取量が減少していることが影響しています。便が腸に
長時間とどまり、それだけ腸内の粘膜に発がん物質などが接する時間も長くなっ
てしまうからです。早期に発見することができれば完治の確率は高くなります。



「便潜血検査」意味はあるの？

便に潜む血液の有無を調べる検査、いわゆる検便を行います。

大腸がんの検査と言うと、大腸を直接診察する検査を思い浮かべるかもしれませんが、大腸がん検
診では便を検査することでがんにかかっているかどうか調べることが出来ます。

大腸がんやポリープがあると、便が腸内を移動する際に便と組織が擦れて血液が付着します。便潜
血検査では便に血が混じっているかどうか調べ、目に見えないわずかな出血も検知することが可能で
す。便潜血検査を受けることで、がん検診の中でも最も死亡率が下がることが証明されています。通
常2日間分の便を採取します。食事制限の必要もない簡単な検査です。10月13、14日に予定してい
る秋のすこやか健診で受けてみませんか？



ベイベーターン

6人の元気な
赤ちゃんを紹介するよ!



ふじ わら ちはや
藤原千颯くん

R5. 1. 30 生

【両親】光太・茉莉江
【住所】栄町1

こんにちは★
藤原家長男、千颯です!!
ミルクたくさん飲んでブクブク成長
中♪笑うと目がなくなるのはパパ似
だよ★やっとなんか暖かくなってきたから
パパママとお散歩できるの楽しみな
んだあ♪見かけたら僕のホッペをツ
ンツンしてね★



かま くら こ はる
鎌倉心暖ちゃん

R5. 2. 14 生

【両親】拓海・七海
【住所】鬼脇1

こんにちは！私の名前は鎌倉心暖で
す。お外の世界に出てきてからは、
やんちゃでお好きなお姉ちゃんに
たーくさん遊んでもらっているよ！
最近おしゃべりもできるようになっ
てきたよ！暖かくなってきたから早
くお散歩したいなあ。見かけたら声
をかけてね！



てら だ さく や
寺田朔弥くん

R5. 3. 14 生

【両親】和弥・恵里
【住所】本泊

初めまして、さくやです。
毎日遊んでくれるお兄ちゃんが大好き。
おしゃべりもたくさんできるようになっ
て、ニコニコなぼくです。
ぼくを見かけたら声をかけてね。



は せ がわ な こ
長谷川風洸ちゃん

R5. 3. 19 生

【両親】風輝・穂乃花
【住所】栄町1

初めまして！あたち風洸です。パパが海が
大好きで穏やかな人生になるようにって素
敵な名前をつけてくれたよ。おませで面白
いお姉ちゃんとお酒飲み過ぎちゃうパパと
優しいママが大好きで、あやしてくれる人
だったら誰でも嬉しくてついニヤニヤしち
ゃうんだ！調子が良い時はおしゃべりも始
めたよ。だから見かけたらあやしてね！
あたちの笑顔でみんなイチコロよ☆



ふじ わら かなえ
藤原叶ちゃん

R5. 4. 2 生

【両親】裕悦・志織
【住所】富士野

こんにちは。藤原 叶(かなえ)です。
予定日より早かったけど、3,111gで
産まれました。今はお姉ちゃんとお
兄ちゃんにいっぱい邪魔されながら、
ミルクを飲んでいっぱい寝て大きくな
ってます。外で会っても寝てるか
もしれないけどごめんなさい。
これからよろしくお願ひします。



く どう ゆ な
工藤結和ちゃん

R5. 4. 8 生

【両親】淳平・加奈美
【住所】栄町2

はじめまして、工藤ゆなです。
3,418gで元気に生まれてきました。
早く大きくなりたくて毎日たくさん
ミルクを飲んでます。大きくなっ
たら山や海をかけ回りたいなあ。
今は毎日のお風呂を楽しみに家で
おとなしく過ごしてます。

電気自動車のモニター実施中!

日産自動車株式会社から「離島での電気自動車の優位性や省エネ等、使い勝手などを検証したい」という事で、4月21日から、電気自動車（日産SAKURA）をモニター使用の公用車として納車いたしました。期間はおよそ半年間を予定しています。

本町として、利尻富士町議会定例会3月会議での田村町長の町政執行方針の中で利尻町、礼文町と合同で「ゼロカーボンシティ共同宣言」を行っており、脱炭素社会実現に向けた取り組みを進めていくところであり、今回のモニター実施はこの取り組みにもつながる第1歩となったのではないのでしょうか。



戸籍の窓口

♥ご結婚おめでとうございます♥

月日	氏名	住所
R 5.3.21	山上 貢平 様	港 町
	梅村みゆき 様	港 町

★お誕生おめでとうございます★

保護者	続柄	氏名	月日	住所
藤原 光太・茉莉江 様	長男	千颯 (ちはや) くん	R 5.1.30	栄町1
鎌倉 拓海・七海 様	二女	心暖 (こはる) ちゃん	R 5.2.14	鬼脇1
寺田 和弥・恵里 様	二男	朔弥 (さくや) くん	R 5.3.14	本 泊
長谷川風輝・穂乃花 様	二女	凧洗 (な こ) ちゃん	R 5.3.19	栄町1
藤原 裕悦・志織 様	二女	叶 (かなえ) ちゃん	R 5.4.2	富士野
工藤 淳平・加奈美 様	長女	結和 (ゆ な) ちゃん	R 5.4.8	栄町2

◆お悔やみ申しあげます◆

氏名	月日	年齢	住所	氏名	月日	年齢	住所
後藤 春子 様	R 4.12.2	82歳	湾 内	川村 スエ 様	R 5.2.5	86歳	本 泊
天内 峯夫 様	R 4.12.3	79歳	栄町1	平野百合子 様	R 5.2.18	65歳	鬼脇2
櫻庭 ミセ 様	R 4.12.7	92歳	鬼脇1	伊勢 京子 様	R 5.2.19	93歳	栄町1
津崎さとみ 様	R 4.12.11	59歳	栄町1	山口 麗子 様	R 5.2.23	95歳	清 川
田村 克行 様	R 4.12.15	73歳	旭 浜	野宮 信子 様	R 5.3.2	92歳	鬼脇1
工藤 郁美 様	R 4.12.26	65歳	港 町	後藤セキ子 様	R 5.3.17	84歳	鬼脇1
安田 豊 様	R 4.12.29	85歳	湾 内	成田 繁男 様	R 5.3.21	85歳	栄町1
熊谷 時光 様	R 5.1.2	92歳	石 崎	蠣崎 京子 様	R 5.3.24	92歳	栄町1
山田 美代 様	R 5.1.8	97歳	鯨 泊	伊藤 幸雄 様	R 5.3.27	88歳	野 中
澤 スミ 様	R 5.1.16	93歳	鬼脇1	斉藤 正人 様	R 5.4.27	63歳	本 泊

編集後記

段々と日も長くなり夏がもうすぐそこまで近づいているように感じます。さて、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが第5類感染症に引き下げられてから1か月が経ち、利尻富士町にも今まで通りの生活に戻りつつ、観光客も増えてきているため、夏に向けて活気づいてきたように思います。

また、飛行機は予約の取れない日も多いようで、朝便や季節便の運航もあることで島民皆様だけでなく観光で来られる方にも利便性の高いものになっており、利尻富士町の賑わいに一役買っているようです。

次回の発行は9月を予定しておりますが、たくさんのイベントなどで盛り上がった夏を紹介できるよう心より願っています。

人口のうごき (令和5年5月31日現在)

	男	女	計	世帯
鴛泊	783	792	1,575	823
鬼脇	314	353	667	398
合計	1,097	1,145	2,242	1,220